

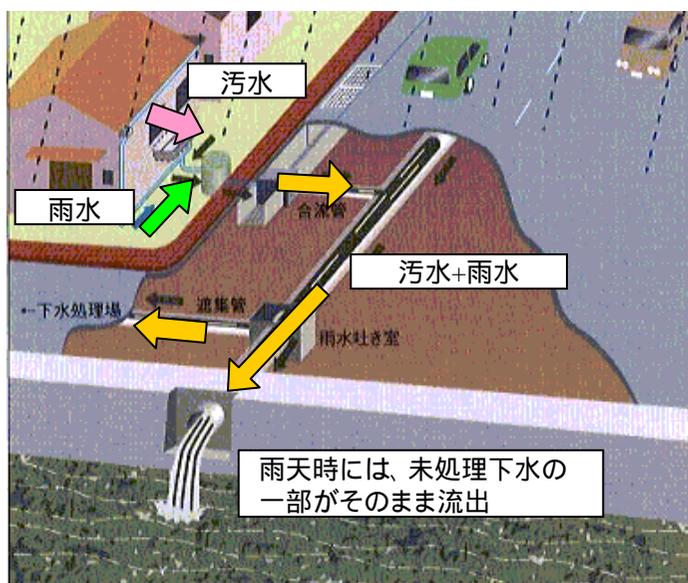
合流式下水道の改善

合流式下水道とは、汚水と雨水を同じ管きよで排除する下水道のこと

雨天時に未処理下水の一部がそのまま流出するため水質汚濁上、公衆衛生上極めて問題

平成16年度より原則10年間で合流式下水道の改善を完了することを、下水道法施行令の改正で義務付け
整備目標 合流式下水道改善率：17%(H16) 40%(H19)

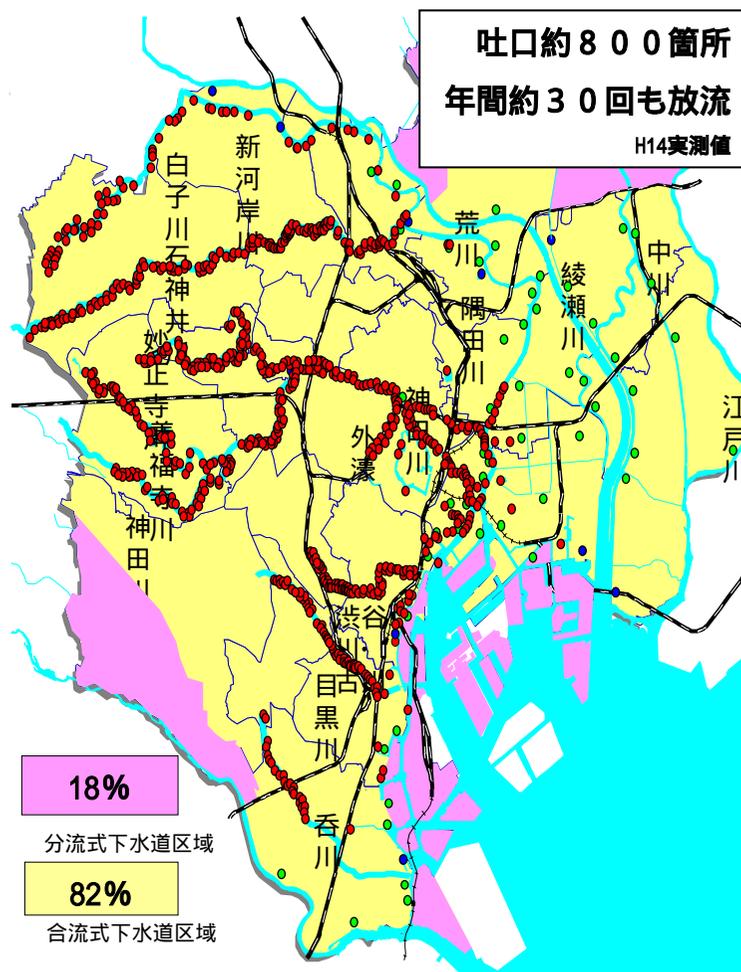
合流式下水道とは



未処理下水の放流状況



東京都区部における雨水吐口の分布



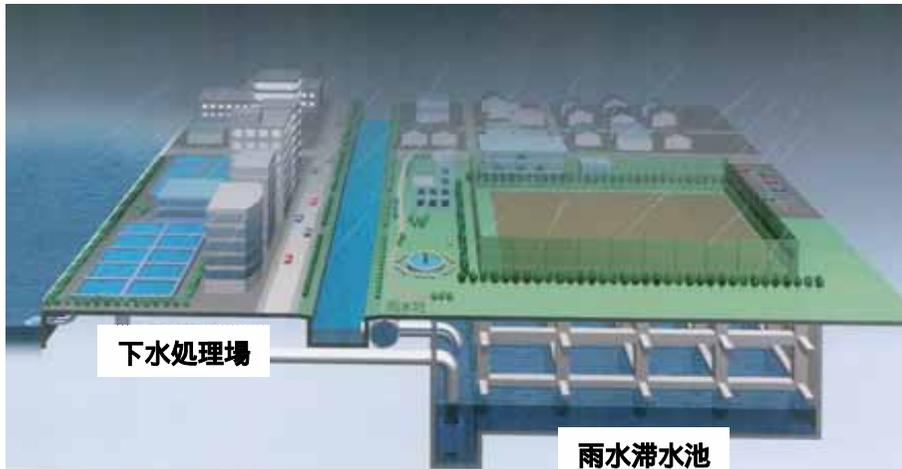
合流式下水道の採用状況

- 191都市 : 全下水道実施都市(1,899都市)の1割
- 22万ha : 全下水道処理区域面積(約137万ha)の2割
- 約20% : 全下水道処理人口普及率(約68%)の3割

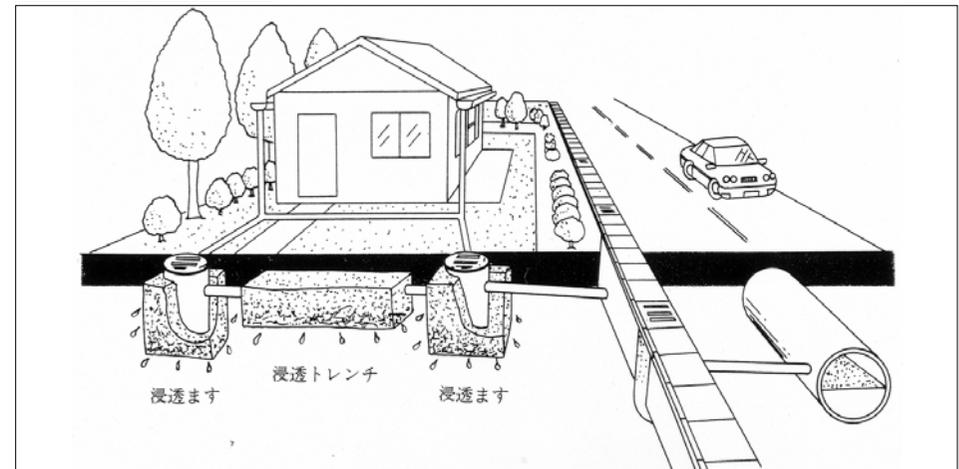
合流式下水道の改善方法

- 下水を一時的に貯めて後で処理：貯留施設の整備
- 雨水を下水道に入れない：浸透施設の設置
- 下水中のゴミを取り除き流出させない：スクリーンの設置
- 処理場へ送る下水量を増やす：下水管の能力アップと雨水吐の堰高の改良

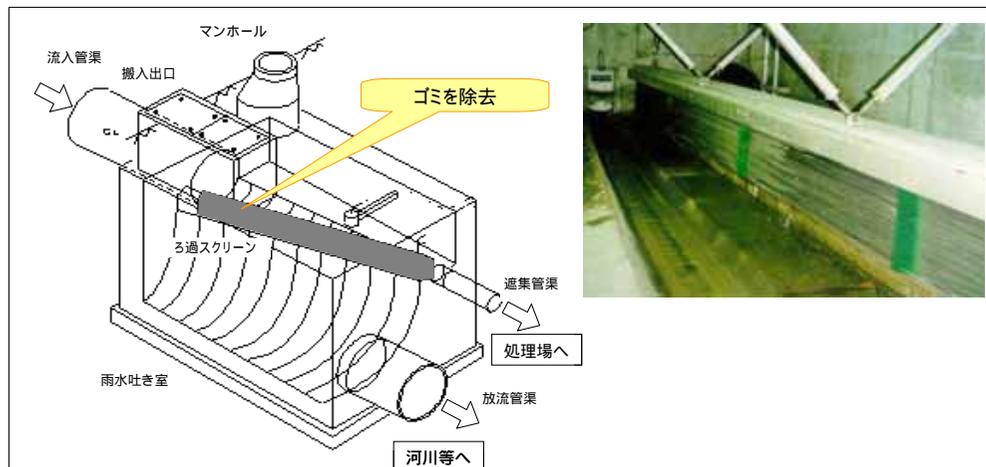
貯留施設の整備



浸透施設の設置



スクリーンの設置



下水管の能力アップと雨水吐の堰高の改良

